Special Contents

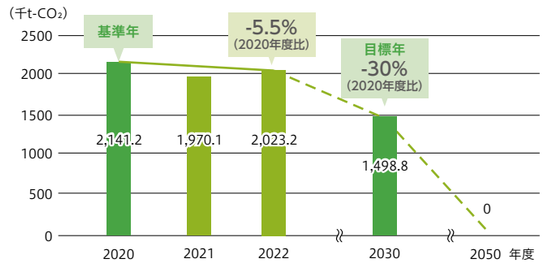
特集 カーボンニュートラルに向けた2022年度の結果と今後

当社グループは、地球温暖化などの気候変動に対して、グループの事業に影響する重要な経営課題と認識し、2050年のゴール目標として「カーボンニュートラルの実現」を掲げ、長期目標として、「Scope1 ～ 3排出量を2030年度までに2020年度比で30%削減」と定めました。

長期目標　2030年度までに 2020年度比で **30%削減**

当社(日東工業単体)のScope1,2は、2020年度のCO_2排出量:21.4千t-CO_2に対し2022年度:20.2千t-CO_2(2020年度比5.5%減)となりました。
2022年度のエネルギー使用量自体は、2021年度と比べ減少したものの、電力会社のCO_2排出係数が増加したことから、2022年度のCO_2排出量は、2021年度に比べ増加した結果となりました。

■日東工業単体のScope1,2



2022年度の主な取り組み

- 掛川工場に太陽光発電設備（250kW）と太陽光発電システム用蓄電池（サファ Link -ONE-）（130kWh）を設置
  （約140t-CO_2/年の削減　掛川工場の消費電力 約13%分）
- 菊川工場の重油・LPG使用設備をLNG使用設備に転換
  （約470t-CO_2/年の削減）

2022年度における Scope1,2の結果 **20.2千t-CO_2**

太陽光発電設備(掛川工場)

サファLink-ONE-(掛川工場)

菊川工場LNG設備

今後の取り組み

今後の取り組みとして以下を予定しており、2030年度目標の達成に向け、着実に進めていきます。

2023年度
- 掛川工場の近隣にソーラーシェアリング「サファ Link -ファーム掛川-」（49.5kW）を設置
- 菊川工場に太陽光発電設備（1,110kW）と蓄電池を設置

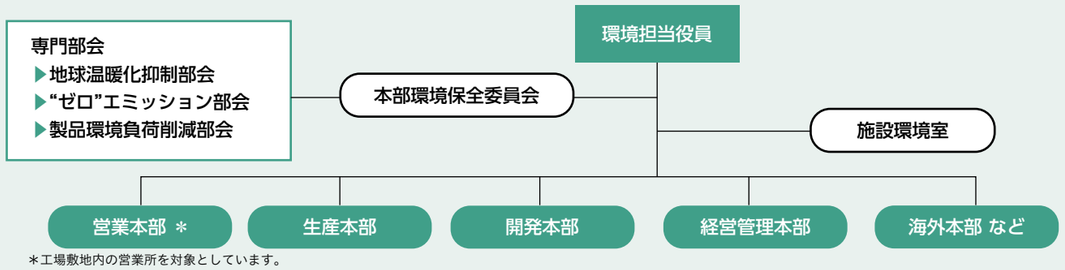
2024年度
- 瀬戸工場の屋根に太陽光発電設備（1,312kW）を設置
- 瀬戸工場の敷地内に太陽光発電設備（1,134kW）を設置

Environmental Management

環境マネジメントシステム

環境推進体制を定め、教育や監査を行い、スパイラルアップに取り組んでいます。

環境推進組織図



＊工場敷地内の営業所を対象としています。

ISO14001の認証取得

2001年3月16日に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得して以来、次の国内の事業場で取得しています。

対象範囲
- ●国内 8工場
- ●(工場敷地内にある)営業所

登録証

環境監査・審査

環境保全活動の実効性を高めるために、環境内部監査員が全工場の環境マネジメントシステムの運用状況を確認し、評価しています。内部監査での指摘事項は速やかに是正を行っていくことでスパイラルアップを目指します。また外部審査機関による年1回の審査において、2022年度は改善指摘（不適合）事項は0件でした。

クローズミーティング

環境教育

環境保全活動を適切に実行し、そのレベルを維持し高めていくためには、個々の従業員への環境に対する意識の浸透を図り、正確な知識の習得に努めなければなりません。当社では、右表の環境教育カリキュラムを設けて進めています。

新任課長研修

■環境教育カリキュラム実施例

教育内容	対象者
環境管理初級： 環境マネジメントシステム教育基礎	・新入社員 ・中途入社員
環境保全教育	・新入社員 ・中途入社員
環境管理初級：環境概論	工場長の推薦者
環境管理中級： 環境マネジメントシステム教育	新任の課長・営業所長
環境管理中級：環境関連法規	工場長の推薦者
環境管理内部監査員養成コース	工場長の推薦者